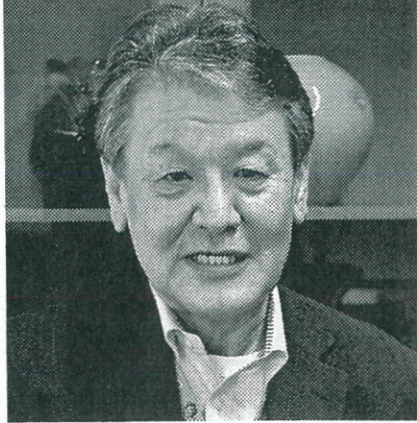


NIPPO  
執行役員関西支店長

たくち かずお  
田口 和男氏

## 支店長



### 確かなものづくり追求

キャリアの大部分を北関東から、関東で培ったものを取り入れていきたい」と抱負を3県と千葉県をエリアとする関東第二支店管内で勤務。3語る。

年間務めた関東第二支店長から初めて勤務となる関西支店のトップに就いた。「関西支店の良いところを継承しな

新幹線の駅周辺開発や25年国際博覧会(大阪・関西万博)関連のインフラ整備にも注目を集める。建築ではマンションの受注を狙う。「管内に10カ所の工場があるのも強みだ」という。

業体制を構築—の全社の運営方針の下、関西支店の施策を立案する。

土木では国土交通省や西日本高速道路会社、阪神高速道路会社との道路新設や大規模更新を軸に、工場や駐車場の舗装など民間工事にも力を入れる。

2023年春に敦賀市(福井県)まで延伸する北陸

働き方改革では「総労働時間短縮ロードマップ」に基づき、週休2日の完全実施を目指す。21年度は「4週7・5休」を目標に掲げる。現場には運営方針に定める「確かなものづくり」を求め、営業社員には「お客さまのニーズをよく把握してほしい」と期待する。

(4月1日就任。東京理科大学土木工学科卒。群馬県出身、57歳)



## 支店長席



### 確かなものづくりを徹底

入社以来、関東第二支店での勤務が長く、関西での勤務は初めてとなる。「関西支店の良さを継続しながら、これまでに培った経験も生かしていきたい」と意気込む。

NIPPO 執行役員関西支店長

田口 和男氏  
たぐち かずお

市場戦略については「国土交通省やNEXCO中日本・西日本、阪神高速道路会社の舗装工事を軸としつつ、民間事業でも直接的な受注を着実に消化していく」方針だ。また、「大阪・関西万博のインフラ整備や新名神高速道路の全線開通に伴う沿線開発、北陸新幹線開通に伴う駅周辺開発などの大型案件も目標にしたい」と語る。

支店は福井県を含めた近畿2府5県を管轄。「10カ所あるアスファルト合材プラントでエリアのほぼ全域をカバーしている。この機動力を生かしていきたい」と話す。

働き方改革にも積極的に取り組

んでいる。「2020年度の目標だった4週7休をほぼクリアできた。現場の意識も変わってきた。21年度は4週7・5休を目標にしている」と目標達成に全力を尽くす。

社員に向けては、「現場で働く社員には全社的な方針でもある『確かなものづくり』を徹底して心掛けること、営業社員には顧客のニーズを把握してそれを現場に伝えることが大切だと話した。両部門が連携して顧客の信頼を得ることで次の仕事につなげていくことが大事」と強調する。

1987年3月東京理科大学土木工学科卒業、同4月日本舗道（現NIPPO）入社。2018年4月関東第二支店支店長を経て4月から現職。趣味は日本映画の鑑賞。群馬県出身、57歳。